

クローンカイトカナダ症候群アトラス作成

研究分担者 穂苅量太 防衛医科大学校内科学 教授

研究要旨：

クローンカイトカナダ症候群は指定難病 289 に認定されているが、報告数は世界で 500 例に対し、本邦で 360 例と国民病の側面がある。世界的に見てもアトラスはなく、本邦では有利な環境にあるが各施設の症例は少なく、班会議で共同研究として症例を持ち寄り、アトラスを作成することが重要と考えられ、作成を開始した。

共同研究者

東山正明¹、八月朔日秀明¹（防衛医科大学校消化器内科¹）

A. 研究目的

難病であるクローンカイトカナダ症候群のアトラスを作成し、診療の一助になることを目指す。

B. 研究方法

多施設共同でクローンカイトカナダ症候群の症例を有している施設より内視鏡像、治療経過、病理像等を含めたアトラスを作成する。（倫理面への配慮）
倫理委員会申請中。

C. 研究結果

研究方法を策定し、倫理委員会に申請し審議中。

D. 考察

クローンカイトカナダ症候群は本邦に多く、アトラスをはじめとする診断に資する冊子は医療に極めて重要と考える、

E. 結論

クローンカイトカナダ症候群作成に着手した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし